

3

・

11

を
忘
れ
な
い

まず自分の命を守り、
次に身近な人を助け、
さらに地域に
貢献できる人になるために

あの日・・・

被災地から、東京都の中学生にメッセージをいただきました。

あの日... 3月11日の事は、一生忘れられない出来事となりました。大きな揺れが私達をおそい私は何が何だか理由がわからないうちに、先生の指示に従って、校庭へ避難しました。校庭で待機していると家の人を迎えに来ました。町中逃げずる人々で車は渋滞していました。私の通っている学校は川のそばにあり、「まさかここまででは」と思いながらも坂の上の小学校へ避難しました。その後すぐです。あのおそろしい津波がこの町をおそったのは...。その日から電気も水道も止まり、寒くて、寒くて不安で、皆でよりよって夜を明かしました。陽が昇り、やがて目に入ったのは、自衛隊の皆さんの姿でした。あれ程、心強く感じた事はありませんでした。町がどんな状況なのか、学校の皆はどうなったのか、情報が入らない事がより一層私達を不安にさせました。夜が来る度、「早く朝にならないかなあ」と思いながら1日1日を過ごしました。今まで何も不自由なく生活していた事がとても幸せな事だと改めて感じました。今回の震災を経験して、皆で火をおこしたり食べ物分けあったり、声を掛けあったり、人と人との絆の深さ、協力あつこの大切さを教えてもらった様な気がします。そして、一番気がされたのは「命の大切さ」です。昨日まで普通に生活していた人々が、何の罪もない人々が突然命を奪われてしまった事。私は生きていて良かったとびから思いました。顔も知らない私達の為に全国の皆さんが応援してくれています。私は感謝の気持ち一杯です。救われた命だからこそもっともっと大切に一生懸命生きていきたいと思ひます。

平成23年 10月 宮城県仙台市立条南中学校

梶原 友衣



津波

岩手県釜石市の津波（引き波）



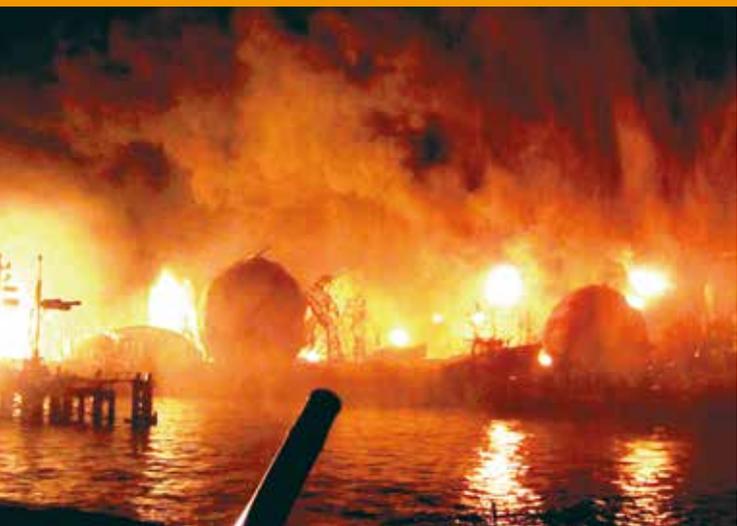
津波に飲み込まれる宮城県名取市の関上港広浦地区。津波は地震発生約30分後には東北地方を襲い、午後3時18分には岩手県大船渡市で8.0mの津波が記録された。

マグニチュード
9.0

がれきの街に打ち上げられた船（大船渡市大船渡町）

東日本大震災

平成23年3月11日午後2時46分



激しく炎を上げて燃え続けた千葉県市原市にある精油所のLPガスタンク

地震によりガスタンクが落下、下にあったガス管が破裂して爆発炎上した。

火災

倒壊

倒壊した岩手県釜石市





震度 5 強の揺れを記録した東京では九段会館の天井が崩落し死傷者が出た。

東京

東京では地震直後から公共交通機関が止まり、家に帰れない多くの帰宅困難者が出た。徒歩で帰ろうとする人々や車の渋滞で都内は終日大混乱の状態が続いた。(新宿駅西口前)



平成 23 年 (2011) 3 月 11 日 大渋滞する皇居周辺

地震、津波・・・そして、復興に向けて



岩手県宮古市役所庁舎に掲げられたメッセージ

復旧へ

東京都からは、東京消防庁、警視庁がいち早く駆けつけ、迅速かつ機動的な活動を行った。被災地では、各自治体、自衛隊、消防、警察などによる懸命な救援活動が続き、復興に向けた取り組みが行われた。

はじめに

平成 23 年 3 月 11 日午後 2 時 46 分、東北地方太平洋沖^{おき}で、我が国観測史上最大のマグニチュード 9.0 という巨大地震が発生しました。この地震は、最大震度 7 という強い揺れ^ゆに加えて大津波を発生させ、東北から関東に至る広い地域に深刻な被害を与えました。

被災地^{ひさいち}では、民家や学校、商業施設、工場だけではなく、街そのものが破壊^はされてしまいました。被害はそれだけではありません。二万を超える尊い命がこの大震災によって失われたのです。

また、無事に避難できたとは言え、住んでいた家を失ったり、働いていた職場を失ったりして、いまだに以前の生活を取り戻せない方々が数多くいます。大震災の爪跡^{つめあと}は東日本各地に深く刻まれています。

「3.11 を忘れない」

この言葉は、被災地だけに当てはまるものではありません。

私たちの住む東京都は、過去に関東大震災を体験し、近い将来、首都直下地震の発生も予測されています。

東京都で学ぶ中学生の私たちも、東日本大震災の記憶を忘れず、防災意識を高め、いざというときに、まず自分の命を守り、次に身近な人を助け、さらに地域に貢献^{こうけん}できる人になれるように、学んでいきましょう。

目次

教科等との関連



国語



社会



理科



保健体育



技術・家庭
(家庭分野)



英語



道徳



総合的な
学習の時間



特別活動



読みもの

あの日…	表紙裏 -1
カラーグラビア 東日本大震災	2
はじめに	4

第一章 知っておこういろいろな災害

年表で見る主な自然災害〈日本の大災害〉	6
地震による災害（建物の倒壊・火災・津波・液状化・土砂崩れ）	8
火山の噴火による災害（火砕流・溶岩流・火山灰・火山ガス）	10
台風による災害（風害・水害と土砂崩れ）	12
大震災から学ぶ（1）～東日本大震災～〈東北地方太平洋沖地震〉	14
大震災から学ぶ（2）～阪神・淡路大震災～〈兵庫県南部地震〉	16
大震災から学ぶ（3）～関東大震災～〈関東地震〉	18
大震災から学ぶ（4） 関東大震災とその後の復興	20
先人が伝える防災の教え	22
古典文学に見る地震	24

第二章 大災害への準備と対策

首都直下地震等の脅威（1） 東京湾北部地震と多摩直下地震の被害想定	26
首都直下地震等の脅威（2） 元禄型関東地震と立川断層帯地震の被害想定	28
大地震発生時の行動を考えておこう	30
日頃の備え、家庭での備え	32
地域防災マップを作ろう	34
応急手当の基本	36
地震発生時の情報の収集と活用 ～不確かな情報に振り回されないために～	38
海外メディアが伝えた東日本大震災と日本の評価	40
世界中の人に恩返ししたい	42

第三章 その日に備えて ～自助・共助の心～

いま、私たちにできること	44
地域の防災訓練に参加しよう(1)	46
地域の防災訓練に参加しよう(2)	48
東日本大震災で活躍した東京消防庁ハイパーレスキュー隊	50
東京消防庁ハイパーレスキュー隊員からのメッセージ	52
防災について調べよう	54
東京都の防災対策を調べてみよう	56
復興に向けて…	58